



なりたい自分に

問題です。 **3 2 2** この数字はなんでしょう。

今日は、令和5年度の始業式。いよいよ待ちに待った1年間の始まりです。初めて出会う子どもたちに、私はドキドキしながら今日を迎えたわけですが、キラキラ輝く春のような瞳、はち切れんばかりの期待感で膨れ上がった体育館に、思わず感動してしまいました。

そんな子どもたちへの第一問。この問題の数字は、野球好きのみならず国民的アスリート、イチロー選手の生涯打率「3割2分2厘」です。稀代のヒットメーカーとの呼び声高いイチロー選手のこの打率は、我が熊本の雄、村上宗隆選手の昨年度三冠王時の打率（つまり日本一の打率）が「3割1分8厘（.318）」と比べてみると、より際立ちます。20年間弱の平均が村上選手を上回っているとは、もうすごいとしか言いようがありません。

我々は、その数字の凄さに、ついその成功の素晴らしさに目を奪われがちです。しかし、あのイチロー選手はそうではありません。

イチロー選手は、2013年に日米通算4000安打会見時に、次の様に述べました。「4000のヒットを打つには、8000回以上は悔しい思いをしてくれている。それと常に向き合ってきた事実はある。誇れるとしたら、そこじゃないかな」
なんと！

ここで、イチロー選手の生涯打撃成績を、量で表してみましよう。

【13553打数4367安打】

実に、(13553-4367=) 9186本の失敗が、成功のおよそ2.1倍に及ぶ失敗の体験に向き合ってきた事実こそが、この大偉業よりも誇れる、とイチロー選手は言うのです。

つい、われわれは、失敗は成功のもととはいいながら、失敗を恐れ、失敗を避けがちです。しかし、失敗こそが、失敗に向き合うことこそが強さであり、なりたい自分になるための道であるとイチロー選手は強く私たちに語りかけます。そして、私は、そんな強さを、失敗に向き合う勇気を、粘り強さを持ってほしいと、我が榆木っ子に願うのです。

もちろん、失敗はきつく、苦しいことでもあります。そんな時には、大切な家族に、かけがえない友に、そして私たち教師に頼ってほしい。“みんな” なりたい自分になろうね、と。

1年の始まりの始業式で、私は子どもたちにこんな願いを投げかけました。ご家庭でも、子どもと一緒に新しい学年にわくわくしてほしいと願っています。

申し遅れましたが、本年度、本校に赴任した校長の余宮忠義です。だれよりも失敗を恐れず、張り切って頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。